

(別紙4)

事業所名 グループホーム和田

目標達成計画

作成日: 平成 28年 1月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の認知症の重度化のため、意思疎通が難しくなったり、思いや意向の把握が困難になってきている。「わからない」という不安に対するケアのあり方	生活を共に過ごし支援する職員として認知症についての知識を深め、ケアの質を高め、利用者の思いや気持ちに寄り添い安心していただけるようにする。	法人内外の研修に参加し、認知症の知識やケアのレベルアップをしていく。職員間での気付きや情報をしっかり伝え合いケアにつなげていく。	6ヶ月
2	27	日々の様子やケアの実践、結果、気付きなどを記録してはいるが、本人の介護計画に沿った視点からはなれてしまう記録が多い。	ケース検討や介護計画を常に把握して、生活を支援し、記録をする。	介護日誌とは別にサービス内容の振り返りチェック表を作成して毎日確認を行う。前日の記録にも目を通して、介護計画に沿った視点の確認をしていく。	3ヶ月
3	33	利用者の重度化に伴う介護内容の変化や終末期ケアや看取りについて、本人やご家族に安心して頂けるよう方針の統一を図っていく。	ご家族と地域医療と職員が連携を取り、方針を共有して支援に取り組んでいく。ご本人や家族に納得した最後が迎えられるようチームとして取り組んでいく。	法人内外の看取りに関する研修への参加や事業所内での勉強会を行う。日頃からご家族と連絡を取り合い一緒にできることを考えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。